

2022年8月

からし種

カトリック片瀬教会



## 窓を通して眺めて思う

### ブランチフィールド神父

7月21日。机について窓から眺めると、川が少し見えます。先日、植木屋さんが木を伐りましたためでしょう。司祭館の横の大木をだいぶ伐り込んだのでさびしかったが、今見ると、いたるところから新芽を出していて、大自然の生命力に感心します。

7月はまもなく終わりますが、今ごろコロナが流行り始めています。片瀬教会はめぐまれていて、8時と10時のミサを制限なく行っていますし、最近は歌も唱っています。みなさんがこのときに気をゆるめないうで、健康の調子がよくない場合は、無理に出ないでください。

7月24日は、第2回「父母と高齢者のための世界祈願日」です。教皇フランシスコ様からのメッセージが届きます。聖書が教えているように、長寿は祝福であり、命を豊かにしてくださる神の慈しみの生きた徴です。先月発足した「コミュニティ」をよく生かしていただければ、一人暮らしのご老人を世話するきっかけ、隣人愛を生かすきっかけが与えられます。

8月5日から15日までは平和旬間です。広島と長崎の犠牲者のために祈って、世界中で戦死したみんなのために祈るときです。

8月15日はマリアの被昇天の祝いです。世界中で大切にされている祝いで、今年こそマリア様のとりつぎをウクライナのために祈ります。朝8時のミサのほかに、お天気が許すかぎり、午後5時のミサを野外で計画しています。ミサ後に親睦の場を考えています。ぜひともご参加ください。

# 2022年 7月度 教会委員会報告

開催日時：2022年7月3日(日)午前11時30分～14時00分

出席者：ブランチ神父、委員長、副委員長、典礼、総務、福祉、財務、会計監査  
教会学校、中高大青会、マドンナ会、一粒会、市内リスト教連絡会、片瀬修道院、  
モリタ修道院

## □ブランチ神父様挨拶

今年のアイルランドへの夏休みは中止しました。理由は帰るのに困難であり、帰った先もコロナ禍から解放されていないからです。私たちは昨秋に新しい委員を募集しようとしたのですが、お互いを知らないということが分かりました。今年も同じ様にならないように、コミュニティの集いを積極的にして下さい。名札を付けることも再度徹底してください。人間同士、関心を持って下さい。他にもコミュニケーションを強めていきましょう。委員会もしかりです。司祭館の玄関の修理も完成間近です。作業をやってくれた人に感謝します。

## □日程

1. 7月 3日 (日) 10時ミサ後教会委員会
2. 7月 11日 (月) 信徒会館殺虫剤(バルサン)散布と掃除
3. 7月 17日 (日) ミニミニ福祉バザー
4. 7月 24日 (日) H. T.さん洗礼式 10時ミサ
5. 7月 31日 (日) 第5地区「祈りの部門」 14:00 片瀬教会
6. 8月 6日 (土) 市内キリスト教連絡会 14:00～15:30 教団藤沢教会  
リアルとオンラインで実施
7. 8月 14日 (日) 初聖体 10時ミサ
8. 8月 23～25日 横浜教区司祭大会(於：諏訪)ブランチ神父様出席予定
9. 10月 10日 (月) 一粒会大会(於：カリタス女子中・高等学校)リアルで  
実施

## □ 報告および連絡事項

1. 6月26日10時ミサでのコロナ感染者対応の状況について報告
2. 財務部より1～4月の会計報告
3. 宣教司牧部より 6月19日開催の部会報告
  - 1) カフェマリオは当面第3日曜日に行く
  - 2) 今年のシネマカフェの実施は困難
  - 3) 9月25日 ブランチ神父様によるペットの祝福を実施
  - 4) 図書係は宣教司牧部が支援する。

5) 外国籍、新信徒が疎外感を感じることはあるのでは？教会全体でケアを考えていく必要があると同時に宣教司牧でも役割を考える。

#### 4. 福祉部報告

1) 7、8月の団体宿泊予定。

① 7月22～23日 第2アルク、② 7月28～30日 みのわマック、

③ 8月1～3日 あんだんて、④ 8月5～6日 ワンステップ

2) 7月17日に第3回目ミニミニ福祉バザーを行う。

8月は休みの予定

3) ウクライナ献金報告 6月 45,843円 今後も継続する。

4) 6月11日 近隣福祉部交流会を行った。そのような活動が出来るか模索しているが、「LINE近隣福祉部」を作った。

#### 5. 委員長報告

別紙資料により、6月26日の第5地区教会委員長会議、共同宣教司牧委員会について

### □ 検討・決定事項

1. 今年の「夏の集い」実行委員会(6月16日開催: ブランチ神父様、池尾、藤本、相澤)報告。別紙により提案説明⇒承認された。詳細は今後詰めていく。

要旨 1) 集いの主旨を「信徒とその家族または友人の親睦を深めることとする」

2) 開催日時は、8月15日(月)聖母の被昇天 17:00～19:30

3) 集いの名称は、「平和の祭り」詳細は、別途案内する。

2. 主日ミサの聖歌 ① 7月3日より8時ミサでも歌唱する。⇒実施済

② 答唱詩編、アレルヤ唱も歌うようにする⇒承認。

7月10日から予定。

3. 種々活動の制限が緩和される中、教会を利用したいと申し出てきた外部団体への対応方法。

⇒ 総務部により対応マニュアルを整備し、これに基づき利用可否を判断することにした。

4. 親松氏支援については、7月迄の募金状況をもとに8月度委員会で検討することにした。

5. コミュニティの集い第2回は、9月早々に予定する。但し、自主的に動いているコミュニティについては、自主性に任せる。

6. 教会内営繕必要な箇所をまとめ優先順位をつけて対応にあたる。総務部

営繕がまとめる。現在候補に挙がっている案件は

- ① 信徒会館雨漏り
- ② 信徒会館照明LED化
- ③ クリスマスツリーの更新
- ④ トイレ鍵修理
- ⑤ トイレ照明を明るくする

#### 7. 委員会開催時期の変更

現在委員会の開催は毎月第1主日であり、からし種の発行時期と重なって、委員会の報告が信徒に届くのが1ヶ月遅れとなり情報としては意味がなくなる。

⇒委員会を月の下旬開催し、議事録が即からし種に載るようにする。

まず8月度教会委員会は、7月31日に行い(夏の集い準備期間も考慮)、

9月度教会委員会は、8月の下旬に予定する

(開催日は、からし種編集委員とスケジュールを調整する)

次回委員会開催 7月31日

## 3年ぶりの聖歌隊交歓会とこれからの聖歌隊

池尾昇治



6月19日(日)に茅ヶ崎教会で3年ぶりとなる「第64回湘南地区聖歌隊交歓会」が催されました。2018年に藤沢教会で開かれた後コロナ禍で中断していたものです。会に出るとやっぱり懐かしい顔に出会いました。再開したとは言っても聖歌を歌うことを再開した教会はほとんどなく、聖歌隊も休止状態が続いて今回の交歓会は従来のように各教会が聖歌を歌うのではなく、初めに「祈りの集い」を行い、後半は各教会からの現状等の報告、引き続き横浜教区事務局の保久神父様からのお話がありました。

聖歌は、「祈りの集い」でPanis Angelicus(C. Franck)、Ave verum corpus(W. A. Mozart)、閉会にAve Maria(J. Arcadelt)の、歌いなれた3曲を全員で歌うのにとどまりました。

参加教会も本来なら13教会ほどあるのですが、今回は大船、雪ノ下、由比ヶ浜、藤沢、茅ヶ崎、片瀬の6教会のみ、参加者は50名ほどでした。

各教会の話しでは総じてコロナ禍での聖歌中止の中にあって、全く歌っていないところもあれば、聖歌隊が人数を制限して歌ったり、ミサの一部のみ歌っていると千差万別ですが、この時点で地区別もなく、参列信徒全員で歌っているのは片瀬だけでした。

保久神父様のお話しの中で、子ども達が、歌えないので聖歌を知らない、忘れてしまった子が増えてくるのが危惧されるということがありました。ゆっくりとでしようがこれからまた歩みを進めて行こうという雰囲気を感じられました。

聖歌を中断した当初は、いずれ元に戻ると考えていましたが、本当に元に戻るのでしょうか？それとも私たちは新しいあり方に進んでいくのでしょうか？考えさせられる会となりました。

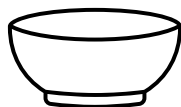
7月10日から、開祭、聖体拝領、閉祭に加え答唱詩編とアレルヤ唱も歌うようになりました。聖歌隊も本格的に活動を再開するような状況で今後について話し合いを行いました。

まず、神父様のご意向は、①ミサ典礼は口語で行うことが求められている。従って典礼聖歌を中心にしてほしい。②若い人、新しい人が教会に来やすくしたいので分かり易く、親しみのある歌を。③ラテン語聖歌を否定するものではない。特別な時に歌うようにしたらどうか。というものです。この意向に基づき選曲をしていくこととなります。

また、コロナの影響もあり、練習は当面必要な時に9時半から20分ほど行うようにしました。最近、若手の新メンバーも数人入りました。特に子どもたちや男性が加わってくれたことがうれしいです。どうぞ気軽に聖歌隊に入って下さい、お待ちしております。

## まりあ食堂 感謝の集い

まりあ食堂ボランティア 上林眞一



6月25日(土)、まりあ食堂の感謝の集いが信徒会館で開かれ、藤沢市や地域の支援者、ボランティアなど約30名の方々が来場されました。この催しは毎年行っていたのですが、コロナの影響で一昨年と昨年は行わず3年ぶりの開催となったものです。以前のような会食はなかったものの、主催者側からの活動報告に続いて来場の方々の活発な意見交流が行われ、和やかで明るく楽しい会となりました。以下に活動報告の一部と来場の方々の声をご紹介します。

—————☆—————☆—————☆—————

☆まりあ食堂 事務局代表 A.T.

まりあ食堂が始まったのは2016年の春。地域のために何かできることがあるのではと、教会と地域のメンバーでチームを結成。「まず始めよう！」の精神で周囲の人に呼びかけて準備を進め、6月に第1回を開催した。

始めてみると新しい気付きがあった。小さい子連れのママや、パパが一人で兄弟を連れて参加する姿に、「子どもだけではなく、ママやパパ、保護者の方々も支えたい！」という思いがチームの中に芽生えてきた。そして考えを重ねてできたコンセプトは、「『食』を通して地域の子どもの育ちを見守り、健康な心

と体を育てるお手伝い。忙しくて頼れる人もいないお母さん、お父さんに子育てのお手伝い」というもの。

これからも「教会」「地域」「関係機関」「藤沢市」「保育園・幼稚園・学校」というまりあ食堂のネットワークを大切にして、子どもから大人まで誰でも来てもらえ、そして多くの人に支えてもらえる場としていきたい。

#### ☆神奈川県立保健福祉大学教授 S様

ボランティアとしてここに来たことがあり、子どもたちに遊んでもらえたことが楽しくてまた来たいと思っていた。子どもたちに対する支援の仕組みはいろいろできているけど、私はやはり居場所、心地よい場所かなと思う。今日もここに来て改めて、いい場所だな、心地よさそうな雰囲気だなと感じている。いろいろ苦勞があると思うけれど、こうして続けられていることにとても感謝している。

#### ☆藤沢市社会福祉協議会 O様

約20年前に社会福祉法が変わり世の中に地域福祉という言葉が初めて出てきた。4年前にまた法律が変わり、地域福祉に必要な具体的な取り組みの要素が明らかにされた。そこには従来からの経済的貧困や子どもが育つ環境、子どもの人権といったことのほかに、住む人たちの孤立・孤独に対する支援と、参加するという二つが特別な要素として加えられた。まるでまりあ食堂の取り組みを国や法律が追いかけているようでおもしろい。このまりあ食堂の取り組みを、これからも応援団として一緒に進めたい。

#### ☆藤沢市子ども青少年部 M様

子ども食堂にはいろいろな形態があるが、まりあ食堂がどの方向を向いているかがよくわかった。子どもはいろいろな年代の人との交流によって成長していくもの。まりあ食堂のようないろいろな方たちが集うところが増えてきてほしい。

#### ☆ランチ神父様

教会の立場から見ても、まりあ食堂は教会の心に沿っていますから、すごく大切な仕事で続けたいです。この活動を通して地域の皆さんとの関わりが一段と強まればと思っています。教会だけではなく周りにいる皆さんと一緒にやっていきたいので、ぜひ、まりあ食堂を教会として祝福したいと思います。

## カトリック平和旬間とは？



毎年8月になると「カトリック平和旬間」というポスターやチラシが出てきます。誰しも8月は広島・長崎に原爆が投下されたこと、太平洋戦争の終戦記念日を思い起すでしょう。

8月前半は、子ども達は夏休みの真最中だし、明るい陽射しの中海や山へ出かける、そんな季節でも何かしら重い沈んだ気持ちを持つ方も多くいらっしゃると思います。「それに合わせた教会行事なのでしょう？」と思っている方も中にはいらっしゃるでしょう。カトリック中央協議会のホームページに「カトリック平和旬間とは？」という記事がありますので、以下掲載します。

---

「1981年2月23日～26日、教皇ヨハネ・パウロ二世は「平和の使者」として日本を訪問し、多くの人々に喜びと希望を与えました。特に広島では、「**過去を振り返ることは、将来に対する責任を担うことである**」と言われ、日本国内外に平和メッセージを発信しました。

戦争を振り返り、平和を思うとき、平和は単なる願望ではなく、具体的な行動でなければなりません。そこで日本のカトリック教会は、その翌年(1982年)、もっとも身近で忘れることのできない、広島や長崎の事実を思い起こすのに適した**8月6日から15日までの10日間**を「**日本カトリック平和旬間**」と決めました。

毎年の平和旬間にあたり、そのための談話が発表されます。これを読んでいただき、ともに平和を祈り、平和を考え、平和について語り、平和のために行動する機会になることを願っています。

この「平和旬間」に広島教区と長崎教区では、全国から司教をはじめとして多くの信徒が集まり、「平和祈願ミサ」がささげられます。また各教区でも、平和祈願ミサや平和行進、平和を主題とした映画会、講演会、研修会、平和を求める署名などが行われます。

わたしたちが望む平和とはまだまだ程遠い状況ではありますが、聖ヨハネ・パウロ二世教皇の思いを新たにし、その心を心とするためにも各教区・地区で行われます平和祈願ミサや様々な行事に参加することをお勧めします。」

参考：<https://www.cbcj.catholic.jp/faq/heiwajunkan/>

---

今年40年目の節目の年になります。教会では、8月15日の聖母の被昇天に合わせて「平和の祭り」を行います。それ以外でも有志が集まって平和のお祈りをする、個人的にお祈りをされてもいいと思います。少しでも多く、神様に平和への願いが届けられたらと思います。

## シノドスアンケートについて



来年行われるシノドス(世界代表司教会議)の準備として各教区にアンケートの依頼がありました。横浜教区ではこの内容を当教区に当てはめ下記6問の質問にまとめ各地区へ送られました。第5地区では各小教区が回答を作成し、それを地区でまとめて4月に教区へ提出しています。片瀬教会では下記回答を司祭、教会正副委員長、総務部で関係者に聞き取り等を行いまとめましたのでご紹介します。

### 1) 諸教会の交わり

---

#### ①外国籍信徒の交わり

Q1. 外国籍の信徒や外国語コミュニティとの交わりはどのように変化してきましたでしょうか。それらの方々が、教会の一員として典礼やその他の教会活動に参加できるようになってきているでしょうか。

→片瀬教会においては、外国籍の信徒が少なく個人的なつながりになっている。一番の障壁は言葉の問題かもしれない。教会の一員として典礼やその他の教会活動に参加に垣根はないが、参加はほとんどない。

#### ②エキュメニズムの促進

Q2. キリスト教の他教派の教会との交わりは深まってきたでしょうか。それぞれの地域において、カトリック以外のキリスト教会と祈りや活動を共にする機会が大切にされてきたでしょうか。

→キリスト教諸派は互いに一致しようとする意識はある。藤沢市のキリスト教諸派は、市内キリスト教連絡会を設け、キリスト教一致祈祷週間を中心として年2回の合同祈祷会や市民クリスマス会を催す等して交流を行っている。また、コロナ禍で礼拝を中止していた教会から牧師が片瀬教会でミサに与ることがあり、司祭はそれを快く受け入れていてキリスト者としての一致をみることができた。カトリックと聖公会との合同祈祷会も実施。

### 2) 聖職位階の交わり

---

Q3. 司祭団は交わりと協働を持って、聖職者中心主義、小教区中心主義からの脱却を図ってきましたか。

→第5地区の司祭の集まりがあり、地区内の活動、そのものの話し合いをしている。



### 3) すべての信者の交わり

#### a) 共同宣教司牧について

＜横浜教区は「聖職者中心主義」から脱却し、すべての信者、すなわち信徒・修道者・司祭の三者が交わりのうちに協力して働く「共同宣教司牧」を目指してきました。＞

Q4. この20年以上にわたる歩みの中で、信徒・修道者・司祭の交わりは深まってきたでしょうか。そして、この三者が協働して神の国の実現を目指すという意識は高まってきたでしょうか。

→三者が協働して神の国の実現を目指すという意識の高まりはあまり見られない。信者の中にこのようなことがあまり浸透しておらず、未だに全てを司祭の指図を待っているというスタンスの信徒も少なくない。また、全体的な高齢化により、修道者が教会へ足を運ぶ機会も少なくなり、交流が減っているように思える。

#### b) 「地区共同宣教司牧委員会」と「三部門」について

＜共同宣教司牧を推進するため、また「小教区中心主義」からの脱却を目指して、横浜教区では16あるすべての地区に「地区共同宣教司牧委員会」が置かれ、また教会にとって欠かせない三つの使命を果たしていくために各地区に「三部門」が設置されました。＞

Q5. これまでの地区共同宣教司牧委員会の歩みを通して、小教区中心主義を乗り越えられてきたでしょうか。「地区」として共に歩む意識は深まってきたでしょうか。

→地区共同宣教司牧委員会の中では小教区中心主義脱却の意識はあり試行錯誤的に活動してきている。しかし、小教区間には、意識の差があり、積極的に取り組んでいる小教区もあれば、信徒に共同宣教司牧の意識が落とし込めておらず、信徒の動きが小教区内にとどまっている部分がある。地区として共に歩む活動としては、キリスト教セミナーや中和田教会再建の資金提供等がある。

Q6. 三部門の営みによって、社会に向けて「祈る力」「信仰を伝える力」「神の愛を証しする力」は育ってきたでしょうか。祈り、伝え、証しする使命を神からいただいて派遣されているという意識は深まってきたでしょうか。

→社会に向けての3つの力は少しずつだが育ってきている。但し、ともすれば神からいただいて派遣されているということを忘れ、人間の力で物事を成そうとすることがある。

## † 8月の典礼 †

1日(月)	聖アルソンフォ(リゴリ) 司教教会博士	15日(月)	✠聖母の被昇天
4日(木)	聖ヨハネ・マリア ビアンネ司祭	20日(土)	聖ベルナルド修道院長教会 博士
6日(土)	主の変容	21日(日)	年間第21主日
7日(日)	年間第19主日	22日(月)	天の元后聖マリア
8日(月)	聖ドミニコ司祭	24日(水)	聖バルトロマイ使徒
10日(水)	聖ラウレンチオ助祭殉教 者	27日(土)	聖モニカ
11日(木)	聖クララおとめ	28日(日)	年間第22主日
14日(日)	年間第20主日	29日(月)	洗礼者ヨハネの殉教

- 8月14日(日) 初聖体 10時ミサ
- 8月15日(月) 「平和の祭り」 17:00～
- 8月21日(日) 教会委員会
- 8月23～25日 横浜教区司祭大会(於:諏訪)
- 8月28日(日) 第5地区「伝える力を育てる部門」 15:00～ 大船教会

### ◆ お知らせ ◆

◇ウクライナ危機人道支援のご協力を引き続きお願いします。募金箱は聖堂入り口にあります。

◇親松英治氏作の「原城の聖母マリア観音」像の移送・設置費用の支援をお願いします。詳しくはお知らせをご覧ください。

2022年8月号

発行 カトリック片瀬教会

〒251-0035

藤沢市片瀬海岸2-2-35

TEL. 0466-22-4646 FAX. 0466-25-7909

<https://www.catholickatasechurch.com>